

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

父のクリニックを継承して

小 池 洋 志

(小池クリニック 院長)

今回平成 26 年度 3 月号の区医だよりの執筆を依頼され、どのようなテーマについて書こうかと色々と考えました。生来本を読むのが苦手な政治や経済にも疎く、そのような私がいったい何を書けるのかといえ、自分自身のことしかない！今回はいつもお世話になっている浪速区医師会をはじめ医師会の諸先生方、クリニックのスタッフ、家族はもちろんのこと私を支えて下さっているすべての方々のことを心に思い描きながら、私の開業エピソードについて少し書いてみようと思います。

平成 9 年 12 月に父のクリニックを継承して今年で 16 年目になります。当時私は大阪市立大学の第一外科（現腫瘍外科）の医局員として大学病院に勤務しておりました。実のところ平成 7 年に大阪医科大学を卒業する際、どこの医局に入局するか卒業直前まで決めかねておりました。私は医師としても人としても尊敬できる父が外科医であったことから、自分も将来外科医になると心に決めておりました。父の母校大阪市立大学第一外科（現腫瘍外科）に入局するか、私の母校大阪医科大学の外科に入局するべきか。大阪医大の外科には私が苦楽をともにしたサッカー部の先輩が多数在籍しておられ卒業に際して入

局を強く勧められておりました。私が在籍中の大阪医大サッカー部は西医体、全医体優勝という部創設以来の偉業を成し遂げたチームでした。それ故に先輩後輩の繋がりがとても強かったので私自身先輩達と一緒に学びたいという想いがありました。しかし将来父のクリニックを継承するかもしれないと考えたとき、最終的には大阪市立大学への入局が最良の選択と判断しました。

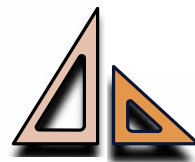
大阪市立大学附属病院で 1 年、育和会記念病院で 1 年外科医として研修を積み、大学病院で麻酔科の勉強を学びながら第一病理学の大学院に進学が決まったのですが、その時期に父が体調を崩してしまいました。一旦小池クリニックを閉院して外科医の道を進むのか、若干三年目で開業医の道を継承するのか。本当に迷ったのですが父の夢でもあった小池クリニックの後を継ぐ決心をしました。今から考えるとここが私の人生にとっての大きな分岐点だったのだと思います。それから半年後に父が他界し、私は医者としても社会人としても未熟なまま開業医として外来に立つことになりました。父との継承期間が半年程あったとはいえ当時は毎日が不安で、新患が来るたびに奥の控え室で必死に医学書を読んで何とか日々の診察をこなしておりました。（皆さんも救急病院での一人当直でこわい思いをされたことが何度かお有りだと思います〈笑〉）



今考えると当時の患者さんには本当に申し訳ない思いでいっぱいです。（もちろんその分本当に色々勉強させていただきました）幸い当時のスタッフが父の開業以来の方々で私のことを子供の頃から知ってくれており、しっかりとサポートしてくれました。また大阪医大のサッカー部の先輩方からも激励のお電話をいただき、その紹介で整形外科や皮膚科の外来研修もさせていただきました。開業して2年目には体調不良から甲殻類へのアレルギーが突然でてしまい、大好きなえびかにかが一切食べられなくなりました。好きなものが食べられないのは本当につらいですね！

時を同じくして診察のことで患者さんとの間にトラブルを持つことがありました。その時も徳田会長をはじめ檜山先生、佐久間先生など、浪速区の諸先輩方に本当に色々御尽力いただきました。開業して一年目の私にとってどれほど有り難かったか、本当に一生忘れられない御恩です。この時私は決して一人でこの浪速区で開業医をしているのではなく、多くの人から支えられているのだと感じました。そして私の今までの選択は決して間違っていなかったのだと思います。4年前には父の開業した場所から大国町の駅前に移転し規模を上げ、私が長年携わりたかったリハビリに力をいれて父の築いた小池クリニックを守っております。現在のクリニックの待合には父の開業時に市大の先生方から贈呈して頂いた大時計があります。朝9時にその時計が鳴ると真面目な父のことをふっと思い出し、気合を入れて患者さんと向き合う日々を送っております。

理事会報告



◎平成 25 年度 2 月定例理事会

日 時 平成 26 年 2 月 28 日〈金〉

午後 8 時～9 時 50 分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 新型インフルエンザ等対策特別措置法及び特定接種に関する医療機関の登録等について
＜佐久間会長＞
特定接種の登録事業者として登録する可否については各医療機関の判断に任せることとなった。

2. 南川整形外科の新入会について

＜佐久間会長＞

標記医療機関より入会の申し出があった。詳細は次のとおり。

医療機関名	南川整形外科
管理医師名	南川 義隆
標榜科目	整形外科・リウマチ科・ 形成外科・リハビリ科
所在地	元町 2 丁目 3 - 19 - 2F
開設	2 月 1 日
保険診療	3 月 1 日

協議の結果、了承。

入会は 4 月 1 日付の予定。

3. 次期役員の選挙、総会開催日程について

＜佐久間会長＞

次期役員就任について、金田理事、桧山監事より任期満了に伴う辞任の申し出があった。

また、役員選挙、定時総会の日程は、5 月 29 日〈木〉午後 2 時～に決定。

4. 平成 26 年度上半期の中央急病診療所への出務割当について <原田理事>
標記診療所への出務医師割当について資料のとおり案をまとめた。協議願いたい。

日 程			出務医師名	
平成 26 年	4月10日	木	深夜 22:00~30:00	徳田好勇
	5月5日	月祝	深夜 22:00~30:00	藤吉理夫
	5月24日	土	準夜 15:00~22:00	中山博文 西平香代
	6月10日	火	深夜 22:00~30:00	木田 徹
	8月29日	金	深夜 22:00~30:00	金田高次
	9月15日	月祝	準夜 17:00~22:00	篠原嘉伸 城村尚登

協議の結果、了承。

5. 日医認証局の運営に関する郡市区等医師会担当理事・事務局担当者連絡協議会（3月10日〈月〉）への出席者について <徳田理事>
標記協議会への出席方依頼があった。
日時 3月10日〈月〉午後2時
場所 大阪府医師会館

協議の結果、有田副会長に決定。

6. 郡市区等医師会社保担当理事連絡協議会（改定点数説明会）（3月15日〈土〉）への出席者について <徳田理事>
標記協議会への出席方依頼があった。
日時 3月15日〈土〉午後2時
場所 大阪府医師会館

協議の結果、佐久間会長、澤井副会長、橋村理事、岡藤理事に決定。

7. 26 年度の総務会、理事会の開催日程について <徳田理事>
資料のとおり、案をまとめた。

協議の結果、了承。

移動理事会は 8 月 23 日〈土〉に決定（詳細は未定）。

8. 26 年度大阪府在宅医療拠点支援事業について <久保田理事>
昨年に引き続き、表記事業に申請したい。

協議の結果、了承。

9. 26 年度の予算・事業計画について <木田理事>
資料に基づき協議の結果、了承。
事業計画前文は佐久間会長が作成する。

10. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について（2月21日〈金〉） <佐久間会長>
次第は次のとおり。
▷開会
▷会長挨拶
▷連絡事項
(1) 平成 26 年度大阪府在宅医療連携拠点支援事業募集の件
(2) 新型インフルエンザ等対策特別措置法及び特定接種に関する登録の件
(3) 郡市区等医師会社保担当理事連絡協議会（改定点数説明会）および近畿厚生局がおこなう集団指導（診療報酬改定説明会）の件
(4) 診療報酬改定に関する説明会関係資料及び関係書類の配布予定の件
(5) 3 月度行事・会合日程の件
▷協議
▷閉会
(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について（2月17日〈月〉） <佐久間会長>
次第は次のとおり。
▷連絡事項
(1) 平成 25 年度大阪市公衆衛生活動事業補助金の件
(2) 大阪市住居における物品等の堆積によ

る不良な状態の適正化に関する条例の施行にかかる対策会議への協力依頼の件

(3) 大阪市内小児ぜん息等医療費助成制度に係る医療費の取扱いの件

(4) その他

▷報告事項

(1) 大阪市民病院機構評価委員会（1月22日、2月10日）報告の件

(2) 大阪市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会 保健福祉部会（1月23日）報告の件

(3) 大阪市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会 介護保険部会（1月28日）報告の件

(4) 大阪市介護認定審査会正副会長会（2月10日）報告の件

▷協議事項

(1) 大阪市医師会連合会規約・部改正の件

(2) 平成26年度事業計画（案）の件

(3) 平成26年度歳入歳出予算（案）の件

(4) 平成26年度会議日程（案）の件

▷会議日程

(1) 3月 正・副会長会 3月17日〈月〉
午後2時

(2) 3月 委員会 3月17日〈月〉
午後2時30分

※ 次期（平成26・27年度）の「正・副会長」及び「会計監督者」の担当医師会

26・27年度	正・副会長				会計監督者
	北部	西武	東部	南部	
	北区	大正区	天王寺区 浪速区	阿倍野区	都島区 此花区

（詳細 略）

3. 大手前病院地域医療支援病院運営委員会について

（1月30日〈木〉） <佐久間会長>
大手前病院で開催された。

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷議事

(1) 病院の概要等

(2) 低線量CTによる肺がん検診

▷その他

▷閉会

（詳細 略）

4. 災害時における連携に関する打合せ会について

（1月28日〈火〉） <有田副会長>
浪速区役所で開催された。

次第は次のとおり。

▷前回の打合せ移行のそれぞれの取り組みについて

▷災害救急隊ブロック編成表について

▷その他

（詳細 略）

5. 合同防災講演会について

（2月26日〈水〉） <原田理事>
フェスティバルホールで開催された。

次第は次のとおり。

▷第一部

演題「災害から学ぶ、安全避難の心得」

講師 防災システム研究所

所長 山村 武彦

▷第二部

講演会会場からの避難訓練

（詳細 略）

6. 専門職のための高齢者虐待防止に関する研修会について

（1月31日〈金〉） <橋村理事>
浪速区民センターで開催された。

次第は次のとおり。

▷事務連絡

▷研修会

演題 「高齢者虐待防止早期発見のための視点や対応について」

講師 社会福祉法人慶生会

認知症介護指導者

主任介護支援専門員 松原 宏樹

（詳細 略）

7. 浪速区認知症講演会について
(2月14日〈金〉) <橋村理事>
浪速区民センターで開催された。
次第は次のとおり。

▷第1部 現場からの活動報告

- (1) 浪速区医師会の活動報告
- (2) 浪速区歯科医師会の活動報告
- (3) 浪速区薬剤師会の活動報告
- (4) 後見人制度について
- (5) 浪速区地域包括支援センターの活動

▷第2部 基調講演

演題 「認知症について

～こんなにたくさんあります。私に
できること・支援者にできること～」

講師 桜川ものわすれクリニック

山本 大介

(詳細 略)

8. 浪速区地域支援調整チーム実務者会議に
ついて

(2月21日〈金〉) <橋村理事>

浪速区役所で開催された。

次第は次のとおり。

▷各専門部会からの報告等

- (1) 子育て支援専門部会
- (2) 障がい者支援専門部会(地域自立支援
協議会)
- (3) 障がい者・高齢者虐待防止専門部会
- (4) 地域ケア会議

▷情報交換

▷その他

(詳細 略)

9. 60周年記念式典・祝賀会について

(1月18日〈土〉) <徳田理事>

報告事項「10」参照。

10. 60周年記念検討・実行・編集委員会につ
いて

(2月14日〈金〉) <徳田理事>

次第は次のとおり。

▷収支について

▷記念品の残りの取扱いについて

▷記念式典・祝賀会の振り返りについて

▷記念誌への寄稿案内について

▷その他

(詳細 略)

11. 第2回郡市区医師会学校保健担当理事連
絡協議会について

(2月26日〈水〉) <落合理事>

次第は次のとおり。

▷あいさつ

▷学校保健指導者講習会教育ツールにつ
いて

- (1) アトピー性皮膚炎
- (2) 学校でよくある外傷の応急手当
- (3) 目とコンタクトレンズ
- (4) 学校検尿に基づく生活管理(学校検尿
の意義・目的・方法)
- (5) 学校検尿に基づく生活管理(学校検尿
の管理・治療)

▷閉会

(詳細 略)

12. 医療問題研究委員会について

(2月12日〈水〉) <富永理事>

次のテーマに沿って協議を行った。

テーマ「医師会のありかた～日本医師会
への帰属意識を高めるために」

(詳細 略)

13. 勤務医師会第8～11ブロック合同懇親
会について

(2月12日〈水〉) <富永理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷報告

- (1) (府医) 平成25年度大阪府医師会役員
と勤務医師会役員との懇談会
- (2) (府医) 平成25年度在阪5大学医師会
役員ならびに2行政医師会役員との懇
談会
- (3) (日医) 平成25年度全国医師会勤務医
部会連絡協議会

(4) (日医) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

▷講演

テーマ「医師不足と医師の偏在について、
大阪市内西部医療圏の現状」

(1) 「都道府県別医師の充足度を各種資料から考える ―東京一極集中と大阪の現状―」

公益財団法人日本生命済生会付属日生病院
神経内科部長 浅野 彰彦

(2) 「研修医はどこから来て、どこに行くのか ―ある臨床研修病院の現状―」

公益財団法人日本生命済生会付属日生病院
事務局次長 木下 幹朗

(3) 「中小病院の現状と今後の課題」

医療法人彰療会大正病院
院長 福本 健治

(4) 意見交換

▷閉会

(詳細 略)

14. 藤井寺市医師会ブルーカードシステム立上げ懇親会について

(1月25日〈土〉) <久保田理事>
銀平にて開催された。

藤井寺市医師会は、本年2月よりブルーカードシステムを本格始動する。
懇親会は多くの関係者が出席しており、盛会であった。

(詳細 略)

15. 平成26年度日本医師会医療情報システム協議会について

(2月8日〈土〉～9日〈土〉) <久保田理事>
日本医師会館で開催された。

次第は次のとおり。

▷日医医療IT委員会セッション

～平成24-25年度委員会答申「ITを活用した地域医療連携の実践について」～

▷地域医療連携セッション ～地域医療連携 ICT化の全国動向とその課題について～

▷ORCAセッション～ORCA・日レセの

主流化宣言～

▷事務局セッション～災害等緊急時医師会連絡システムの構築について～

▷国際セッション

～世界での医療IT化の進展と医療への影響・個人情報保護等について

▷メインシンポジウム クラウド・ビッグデータ時代の医療IT化の進路

(詳細 略)

16. 予算委員会について

(2月21日〈金〉) <木田理事>
協議事項「9」参照。

17. 病診連携委員会(49回1月27日〈月〉・50回2月24日〈月〉)について

<金田理事>

各次第は次のとおり。

▷49回1月27日〈月〉)

(1) 第48回病診連携委員会報告について

(2) ブルーカード事例検討報告について

(3) 病診連携委員会のアンケート結果について

(4) 連携病院のVPNシステムの導入状況について

(5) ブルーカード発行時の承諾書の再確認について

(6) その他

▷50回2月24日〈月〉)

(1) 第49回病診連携委員会報告について

(2) ブルーカード事例検討報告について

(3) 病診連携委員会のアンケート結果について

(4) 大正区訪問看護ステーションの近況と今後について

(5) 医療介護連携シート等について

(6) メーリングリストの構築について

(7) その他

18. 第2回大阪中央地域産業保健センター運営協議会について

(2月6日〈木〉) <金田理事>

次第は次のとおり。

-
- ▷会長挨拶
 - ▷大阪中央労働基準監督署長挨拶
 - ▷報告事項
 - ▷協議事項
 - ▷大阪中央労働基準監督署からの連絡事項
 - ▷その他

(詳細 略)

19. その他

- (1) 第3回浪速区地域包括支援センター運営協議会について

(2月28日〈金〉) <橋村理事>

浪速区役所で開催された。

次第は次のとおり。

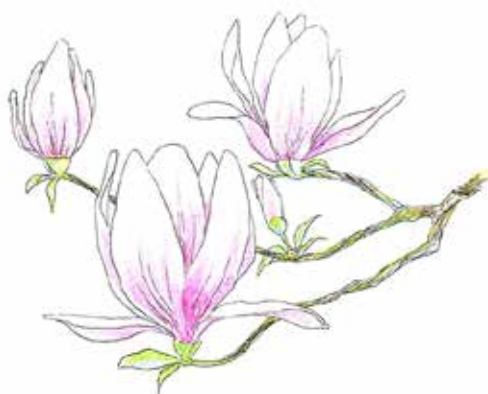
- ▷あいさつ
- ▷委員、事務局の紹介
- ▷議題

- (1) 随時地域ケア会議について
定期地域ケア会議について
- (2) 地域ケア会議から見てきた課題
地域支援計画について
- (3) その他

(詳細 略)

次回理事会

平成26年3月28日〈金〉 午後8時～



4月度学術講演会のお知らせ

4月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成26年4月19日(土)

午後2時～4時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「今の時代の糖尿病治療

～全身を診る～」

講師：高槻赤十字病院

糖尿病・内分泌・生活習慣病科

部長 金子 至寿佳 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。

浪速区医師会活動の伝言板

平成26年4月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三歳児健診

●保健福祉センター

4月24日(木)午後1時40分～3時30分

小児科 川田 信哉

眼科 吉野 成泰

耳鼻科 中村 泰久

BCG接種

●保健福祉センター

4月17日(木) 午後2時～3時30分

本田 秀明・北村 栄作

大阪府医師協同組合からのお知らせ

ドクターにふさわしいカードとして、
メリットを最大限に高めました。
ぜひお申込みください!

医師会員におすすめする5つのメリット

年会費がお得!

■一般カード
年会費 無料 ※家族会員も無料
◎家族カード4名様まで入会可能!
限度額 130万円

■ゴールドカード
年会費 初年度▶半額5,250円(税込)
次年度▶全額10,500円(税込)
◎家族会員も永年無料
◎家族カード4名様まで入会可能!
限度額 200万円

特典付きスイッチカードで便利
世界中のVISAカード加盟店に加え、医師協CARD加盟店の独自の特典・メリットが受けられます。

会員向け情報誌「医師協CARDニュース」や「医師協CARD加盟店ガイド」を発行
利用できる加盟店は「医師協CARD加盟店ガイド」でご確認ください。
また最新情報は、年4回発行の「医師協CARDニュース」でお届けします。

**百貨店や書店で3～5%OFF、
ホテルのレストランで10%OFF**
近畿圏はもちろん、全国にも広がる約300の加盟店で割引・還元があります。

とくとくポイントでさらにオトク
還元率は一般的なカードの約4倍! (組合員のみ)
医師協CARD加盟店でのご利用は「とくとくポイント」の対象になります。
組合員は約2.5%、賛助会員は約2.0%の高率ポイントでキャッシュバックされます。
※1ポイントに對する還元金額は年度により変動します。

例えば、「高島屋 大阪店」で100,000円(税別)の商品をご購入された場合

カードご利用特典還元 6,000円	とくとくポイント還元還元 2,375円	実質現金支出額 ¥92,625円 ※平成23年度還元率
----------------------	------------------------	-----------------------------------

大阪府医師協同組合 大阪府中央区上本町西3丁目1番5号 TEL.06-6768-2053(購買2課) 詳しくは、「医師協CARD」のホームページをご覧ください。▶ <http://www.emca.or.jp/card/>

急病診療所出務

●中央急病診療所

4月10日〈木〉 深夜 22：00～30：00

徳田 好勇

●今里休日急病診療所

4月13日〈日〉 10：00～17：00

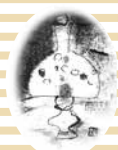
山口 貴也・川田 信哉

浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。
(ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲碁部 毎月第1・3・5(土)
(川田信) pm 5：00～





あとがき

Y.M.

近年では珍しいほど寒い日の多かった今年の冬もようやく過ぎ去って、やっと待ちかねた春の到来である。関東甲信地方は連日大雪に見舞われ、例年わりと積雪の少ない山梨県では、全ての道路が雪で封鎖され、県全体が孤立したという。そんなニュースを見ていると、大きな災害に見舞われたり、異常気象に悩まされることの比較的少ない大阪という土地に住んでいる我々は幸せだと思う。

マスコミが連日大騒ぎしていたソチ五輪も、テロなどの大事件もなく、無事閉幕した。金メダルは1個に終わったが、合計で8個のメダルを獲ったのは日本としては上出来の部類だと思う。金メダルが期待されていた浅田真央や高梨沙羅選手がメダルに届かなかったのは、やはり過剰な期待やマスコミの重圧に押しつぶされた結果であろう。これに対し、あまり名前も知らなかったスキーやスノボの選手がのびのびと実力を発揮して、メダルを獲ったのは喜ばしい限りであった。

そのソチと目と鼻の先にあるクリミア半島では、ロシアとウクライナが険悪な状況でにらみ合っていて、一触即発の状態が続いている。五輪に続いてパラリンピックも開かれようとしているのに、選手達も気が気でないだろう。西欧諸国はこぞってウクライナに肩入れしているので、またしても東西冷戦状態になるのではないかと気がかかる。

シリアをはじめとした中東諸国では21世紀に入っても内戦の絶えることが無いし、常にテロの恐怖に曝されている国も少なくない。

それらのことを思えば、自然災害は別として、少なくとも内戦などの危険性は孕んでおらず、70年もの長きにわたって一度も戦火を交えていない今の平和な日本に住んでいることにもつくづく幸せを感じる。願わくばこの

平和が永遠に続いてくれることを心から祈っている。

今月号の巻頭言で、小池先生が卒後わずか3年目に父上の跡を継いで開業を決意され、ほぼ独学で医療経験を積まれた苦労話を書いておられる。医師免許を取得してから今日に至るまでの道程にも、(自分も含めて)個々それぞれの苦労や悩みが秘められていることに改めて感慨を催した。



目次	ページ
巻頭言	
父のクリニックを継承して	
小池 洋志	1
理事会報告(2月開催)	2
4月度学術講演会のお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	8
あとがき	10

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 中村泰久 橋村直隆
印刷所 株式会社 サ ビ